



コピーライター
近藤 マリコ

コピーライター、プランナー、コラムニスト。工芸・着物・伝統芸能、職人の世界観、現代アートや芸術全般、日仏文化比較、紀行文などのテーマを主に手掛ける。やっとかめ文化祭ディレクター。



一目置かれる名古屋の手土産セレクション



企業訪問をする際に、気の利いた手土産を持っていけたら、相手に喜んでいただけるだけでなく、そのセンスの良さに好感度アップという効果もついてきます。シーンに応じて使えるさまざまな名古屋の手土産を紹介します。

vol.2 | お茶の升半

新茶の季節に、手軽に楽しめるティーバッグを。

このほかにも…



ダックワーズ 6個入り 1,944円(税込)
(抹茶・ほうじ茶) 8個入り 2,592円(税込)
10個入り 3,186円(税込)

抹茶とほうじ茶の粉末とアーモンドパウダーがそれぞれ生地に練りこまれた、直径6cmほどのビッグサイズ。クリームにも茶葉の粉末が使われており、ふわっと香る風味が印象的な焼き菓子。



メッセージ入り煎茶ティーバッグ 1個 108円
煎茶のティーバッグがバラ売りされており、メッセージやイラストが描かれている。お茶屋の看板猫シリーズをはじめ、千代紙風パッケージなどがあり、個別のプチプラギフトにぴったり。

お茶の升半 本店

中区錦2-7-1
052-211-4188
営業時間：9:00～17:30
定休日：日曜・祝日
<http://www.masuhan.co.jp>



ティーバッグ
柴舟(しばふね) 2.5g×15袋 864円(税込)
薬かぶせ(わらかぶせ) 2.5g×15袋 864円(税込)

5月は新茶の季節。茶葉の手土産は初夏の爽やかな風物詩です。ところが、ペットボトルのお茶を買う習慣が根付いたからか、茶葉と急須でお茶を淹れることを面倒に思う方が増えているのだそう。全国の名産地からフレッシュな茶葉が届くこの時期に、手土産の候補に挙がりにくいのだとしたら、とてももったいないことです。それならば、まずは美味しい茶葉を手軽に楽しむスタイルを贈り物にしたらいかがでしょうか。

名古屋のお茶の老舗である升半では、煎茶のティーバッグが販売されています。ティーバッグと言っても、よくあるぺっちゃんこの袋ではありません。さすがお茶屋さんだけあって、そこには美味しいお茶が淹れられる仕掛けが。ナイロンの三角錐の袋に茶葉が詰められており、お湯を注ぐと茶葉が袋の中できれいに広がるのです。熱湯を注ぎ、早めにティーバッグを出せば、渋みと旨みのバランスが良い美味しいお茶が淹れられるというわけです。「マグカップにドリップコーヒーを一杯だてする感覚で召し上がって」と、ひと言添えてお渡しすれば、茶葉の贈り物に込めた想いはきっと伝わります。